

ぼくの大切な
おばあちゃんへ

生まれて来てくれて
ありがとう。

「ほ、」フライ返しを使わずにお女子みやきを上手にひっくり返す料理上手なおばあちゃん。いつもニコニコえ彦貞で、ぼくたちの言話をよく聞いてくれるし、おうえんもしてくれるやさしいおばあちゃん。ぼくは、そんなおばあちゃんが大女子きだ。ぼくをよくほめてくれるけれど、この手系氏でぼくがたくさんほめたいと思う。なぜならこの間、10さいにな、たぼくにおばあちゃんが言った。「ちょうど同じ年のころおばあちゃんのお父さんは亡くなったんだよ」と。それを聞いてぼくはおどろいた。もし自分だったら、その悲しみをのりこえるのは、むずかしいだろうと思、たし、おばあちゃんは、すごい人なんだなあとあらためて思った。10さいのおばあちゃんには、二人の女末がいて、お女市ちゃんとして、面どうを見たり、一人で働くお母さんの手云いをしたり。今のぼくにはできないことをたくさんして来たんだなと考えたら、ぼくの矢口しているだれよりもえらい人だと思えた。今はフラダンスの先生をしている元気なおばあちゃんは、ぼくのじまのおばあちゃんだ。

いつも ありがとう

けん進より

おばあちゃんか生まれて来てくれて、つらいことものりこえて来てくれてそしてぼくのお母さんを生んでくれたから

ぼくがいる。そのことをわすれずにこれからぼくがおばあちゃんのことをたすけたいと思、っているよ。

